



Reform File 1

築45年の小住宅の柱や梁をあらわにして 傷や汚れにも味わいの出る自然派住宅に

壁を抜く・板を貼る
工事はすべて手作業で



梁や柱はオイルステイン仕上げ。壁と天井は石膏ボード(下地材)を貼って、水性ペンキ仕上げに。高所の作業は重労働ですが、最後に天井扇を設置してアクセント。寒い冬に暖気をほどよくまわしてくれます。



もとの畳をはがした床にはバイン材のフローリングを直貼り。素足に優しい感触のバイン材や接着剤は、インターネットの建材屋さんに注文したので、購入時は運搬の苦労はナン。丁寧な仕上げはプロ願負いです。



部屋の照明配線は、むき出しになった柱に沿って通っています。カバーでおおって目立たぬようにしました。スイッチボックス(写真右)が愛らしげ。



DIY-DATA

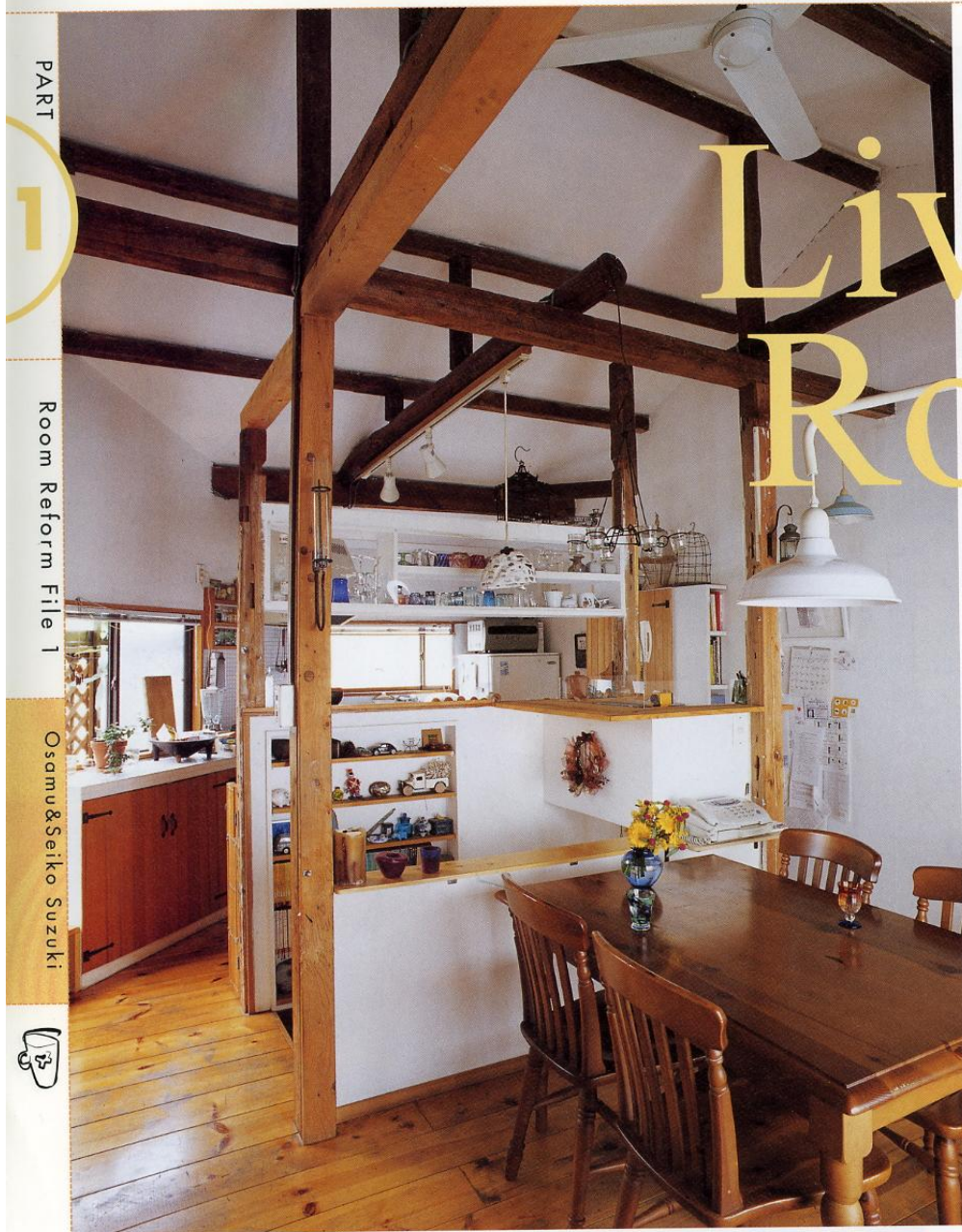
鈴木完さん・聖子さん
住まい 築45年木造2階建て
作業期間 約1.5か月
費用 約40万円(材料費のみ)
材料 内装/バイン材(床)、石膏ボード、水性ペイント(壁・天井)、オイルステイン(柱・梁) キッチン/シナ合板(収納部)、ウォールパネル(収納扉)、モザイクタイル(天板)、接着剤、アクセサリ-金具 収納家具/シナ合板、ウォールパネル、アクセサリ-金具など



古い壁をぶち抜くうちに だんだん楽しくなってきた

今から4年前、鈴木さん夫婦がご両親から譲り受けたのは、築45年という古風な日本家屋。細く急な階段を中心に部屋が細切れに並んだその住まいは、自宅で造型教室を営むという鈴木さん夫婦のライフスタイルには馴染まないため「それなら自分達の手で住みやすくつくり直そう!」と全面リフォームに挑戦しました。

最初に手掛けたのは古い壁や天井を外して梁をあらわにした大空間をつくること。古い土壁の数か所をとんとんたたき、最後にはどろんと脚で蹴って豪快に外すうち、どんどん気分がのってきたそうです。また以前から知り合いの大工さんがたまに顔を出して親切にアドバイスをしてくれたのもラッキー。2人は安心して壁天井のペイント、床のフローリング貼りへとリフォームをすすめることができました。



PART

1

Room Reform File 1

Osamu&Seiko Suzuki



Living Room

階段でキッチンと隔てた
セミオープンな間取り

① 梁や柱が交差して天井が一番ダイナミックに見える部分。中央の丸太梁にスライドレールタイプの照明器具を取り付けました。階段両脇の壁の厚みを利用した収納棚も完さんの手作りです。

押入れを利用した手作り収納が圧巻！

DIY ADVICE

僕達がお世話になったのは「直し大工」と呼ばれる、昔から家の屋根や棚などの修繕を器用にこなしてきた職業の人。すごく丁寧に指導してくれました。最近はずいぶん少なくなったというそんな職人さんに出会えるといいですね。その一方でインターネットもすごく便利です。かなり詳しいDIY情報が学べますよ。

見事、真四角に接着した引き出しは裏に塩ビボードを貼って滑りを良くしました。表には取っ手兼用のネームプレート。文房具や日用品を分類収納してあります。



引き出しっぱいの白い戸棚は隣の部屋から使う押入れの一部分を拝借してリビング側から作りつけた形。綿密に設計した後、シナ合板を使って完さんがあっという間に製作したそうです。



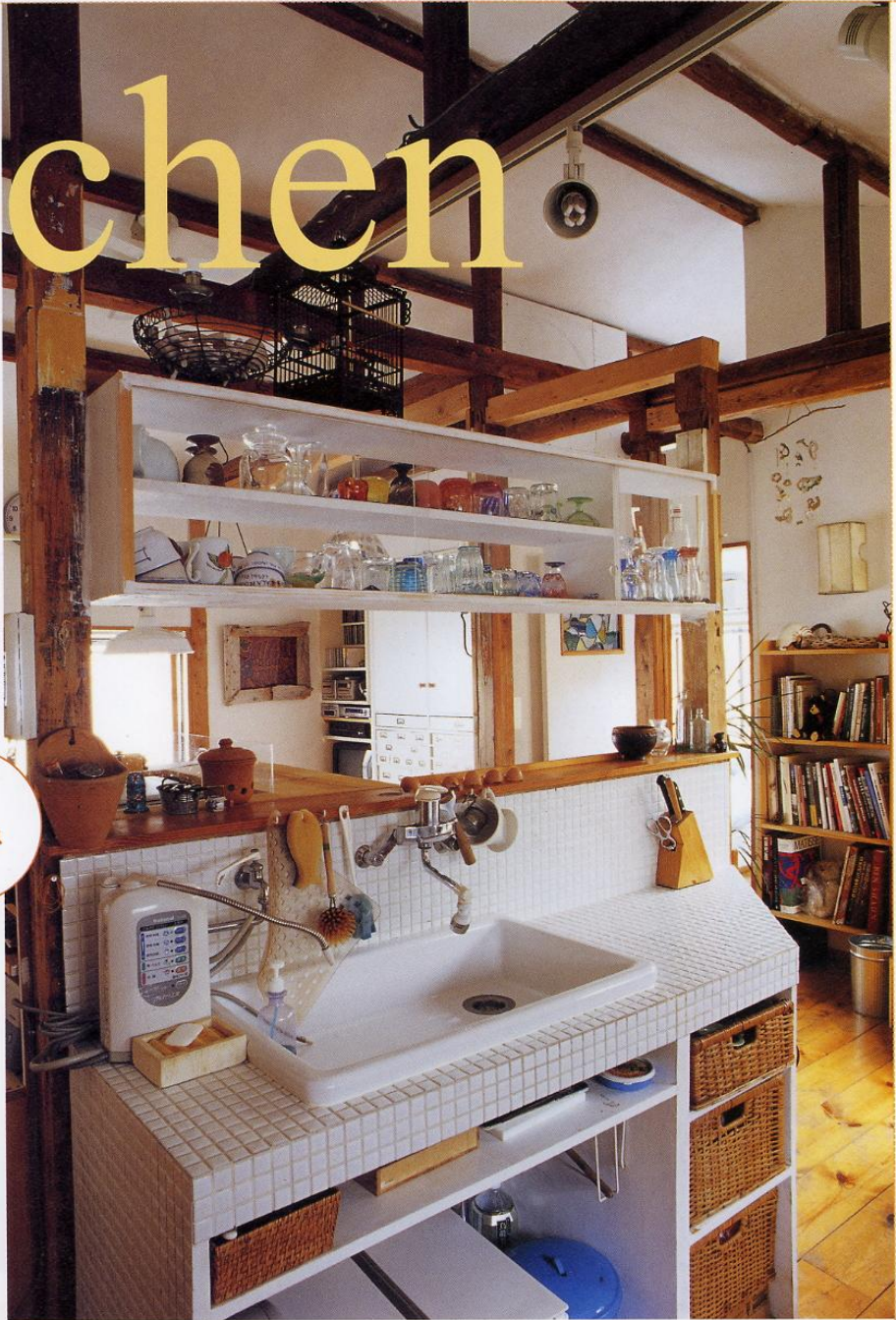


Kitchen

手作りの愛情いっぱいキッチンに

②階段横の壁にあり、リビングルームと向かい合わせになったシンクカウンター。モザイクタイル貼りのカウンター下はバスケットの引き出しとオープンなゴミ箱スペース。手作りならではの使い勝手の良さが感じられます。

シンク
スペース



白い陶器のシンクは理科の実験室用。浅くて使い勝手がいいそう。モザイクタイルを貼った後、上からはめ込み、周囲をコーキングで密着。その後排水口と配水管をつなげます。



ガス・水道の配管以外はすべて自作に初挑戦!

キッチンに考えていたのは、斜めになった窓辺と階段にはさまれたスペース。狭い上に変型していて、市販のキッチンユニットではおさまりそうもありません。そこで完さんの手作りターゲット! あらかじめ職人さんにガスや水道の配管の手はずを整えてもらい、シンクとコンロ、換気扇の位置を決めたあと、設備を組み込みながら、聖子さんの希望するナチュラルキッチンに仕上げます。土台のキャビネットはコンパネで、扉は腰壁用のウォールパネルで、ワークトップはモザイクタイルで。奮闘約一週間、目を見張るほど美しいキッチンが完成しました。



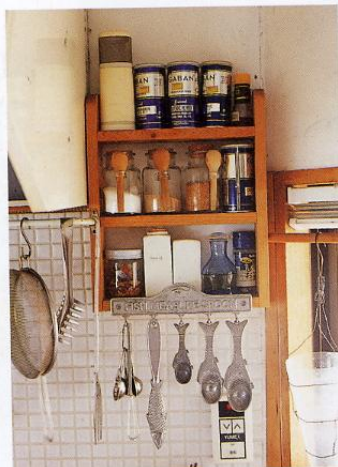
PART

Room Reform File 1

Osamu&Seiko Suzuki

コンロをはめ込んだカウンターは、
ハンドメイドの味わい満点！

レンジフードの左右の壁にウッディなスパイスラックを取り付け。レードルやお魚計量スプーンなどを吊るして見せる収納の場所に。



どっしり味のあるアイアン製蝶番や取っ手を利用。聖子さんが欲しかったナチュラルキッチンの象徴的なインテリアアイテムです。



宗さんの努力のほどがうかがえる、変型した窓辺のコンロカウンター。リビングからひと続きに貼った床のバイン材の色や素材感に似合うナチュラルデザインに仕上げられています。



コンロ
スペース



サイズをチェックして作ったので市販のガスコンロがぴったりはまりました。後ろのガス栓類も隠れてまるでシステムキッチンみたい！

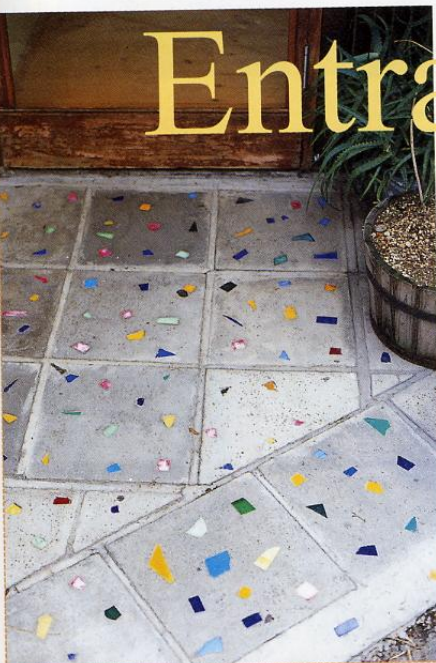


引き出し本体はシナ合板で作り、扉材にウォールパネルを使いました。ザルやボウルといった大きめキッチングッズもすっぽり！

Entrance

ほのぼの色ガラスの
玄関でお出迎え！

最後に紹介するのは、鈴木家の象徴ともいえる玄関アプローチ付近。キラキラ光るカラフルな色ガラスを型にちりばめセメントを流し、一緒に固めたもの。「手作りって楽しい！」そんな気分が伝わってくる作品です。



奥行き10cmの薄型食器棚は
フローリング材を扉に利用

キッチン向いの壁際に「お茶碗が横一列に並ぶ」浅型食器棚を作りました。棚板の工夫でタオルやストックも出し入れしやすく収納できます。大きな扉はフローリング用のパネル。裏面の上下に補強板を打って丈夫な作りに。